

## ⑫ 公開特許公報 (A)

昭63-60634

⑮ Int. Cl.

H 04 H 1/08

識別記号

庁内整理番号

7608-5K

⑬ 公開 昭和63年(1988)3月16日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 電気信号の伝送方法

⑰ 特 願 昭61-204413

⑱ 出 願 昭61(1986)8月29日

⑲ 発 明 者 壺 岡 靖 明 北海道登別市鷺別町5丁目21番5号

⑳ 出 願 人 壺 岡 靖 明 北海道登別市鷺別町5丁目21番5号

## 明 詳 書

る。

1 発明の名称 電気信号の伝送方法。

(2) 従来技術

娯楽性を主とする放送業務として公知している通信方法は、電磁波の空中放電による商業放送と、専用回線によるCATV、有線音楽放送である。

2 特許請求の範囲

音楽・映像を電気信号で通信回線を用いて伝送する際

これらの形体による放送所・受信所間における発信、受信は、同時進行の関係にある。従って3分間の音楽は3分間、3時間の番組は3時間の送信・受信の時間を要する。

(1) 音楽、映像の固有する演奏時間より高速度で送信する電気信号の伝送方法。

(2) 高速度で送信される電気信号を受信所にて一時固定し、再生時に正常な演奏時間に復調する特許請求範囲第1項記載の電気信号の伝送方法。

(3) 問題点を解決するための手段

(イ) 本発明は音源、映像源(レコード、ビデオ等)の固有の演奏時間を圧縮して

(ロ) NTT回線等で高速伝送し

(ハ) 受信所にて正規の演奏時間に引伸して再生するものである。

たとえば3分のリクエスト音楽を数秒間で3時間のBOM番組を数分間で送信し、受信所で正規の演奏時間に復調し利用する。

3 発明の詳細な説明

(1) 産業上の利用分野

本発明は、主として娯楽用の音楽、映像を放送所より受信所(複数)に伝送する際、電気信号としてNTT電話回線網または他の通信回線(農協有線等)を利用するものであ

(4) 作 用

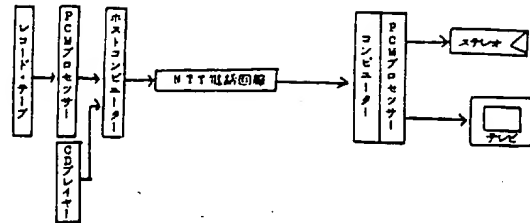
(4) 放送所での作業 レコード・テープ等のアナログ信号は、PCMプロセッサでデジタル化し、またCDプレーヤー・ビデオ映像等は直接に送信用のホストコンピュータにセーブする。

(5) セーブが完了した音楽・映像の電気信号は、N T T電話回線網等を利用して高速で送信する。長時間のB O M・映像は、客側の開店時刻前に送受信が完了している。また、リクエストなど短時間で送受信の完了するものは、電話交信中に行なり。

(6) 受信所での作業 ホストコンピュータと同じ通信速度で受信するコンピュータを用意し、放送所より伝送される信号をセーブする。

(7) 受信所でセーブされた信号は、客側の最も有効な時刻に手動で再生する。手順は、放送所での作業を逆にしたものである。

(8) 本発明の概念を要するブロック線図



#### (5) 発明の効果

本発明は最新の電子技術を応用して容易に信号の伝送を行なうもので、且つ、N T T電話回線等既存の通信回線の空き時間を活用して音楽、映像の有線放送化を意図する。従来の有線放送と比較し次の改善効果を期す。

(1) 線路の維持、保守の経費負担の軽減。

(2) リクエストの迅速なサービス。効果的な再生始発時刻の設定。

(3) リクエストは希望した受信店だけが再生可能であり、良好な番組を維持できる。

(4) 番組編成は 受信店側の要望により無限の製作ができる。

特許出願人 盛岡靖明